自由が丘産能短期大学紀要 1-10号(1964-1973)

研究論文集 昭和39年度上期分(第1号)

| <u> </u> | |
|---|-------|
| 表題 | 著者名 |
| 行政組織論の一考察:L.Gulickの組織論を中心に | 下条美智彦 |
| 人件費と職員数:地方公共団体の場合 | 森田邦彦 |
| ビジネス・オートメイション時代に於けるドル、マネイジメントの役割 | 藤原敏夫 |
| EDPS実施にともなう人事管理の問題解決について | 小林末男 |
| 電子計算機導入のためのPR | 松岡正 |
| 企業経営における稟議制度の管理論的考察 | 馬場一太 |
| 販売在庫生産システムの動的研究の考察 | 大槻繁雄 |
| 標準作業時間の予定設定法:小規模の下請会社の実例 | 荻原洋太郎 |
| 新らしい計画手法PERTの応用:その1 | 佐々木昭三 |
| 販売員に対する販売割当の現状と問題点 | 佐伯肇 |
| 貸倒れ予防のための信用調査 | 佐伯肇 |
| リベート政策の効用と問題点 | 大林一三 |
| インストラクション場面におけるカウンセリング技術の応用 | 土屋晃朔 |
| 管理者教育におけるCase Method(Incident Process)の実例研究 | 小林幸一郎 |
| 意志決定原価(decision costs)の構成に関する一考察 | 鳴沢暁 |
| 訓練技法:インストラクターのための話し方ときき方 | 湯浅弘子 |
| 産業訓練に於ける視聴覚教材の利用 | 工藤貴美子 |
| コミュニケーションゲームのすすめ方:リーダー用資料 | 嘉味田朝功 |
| インストラクターの自己啓発に関する一考察 | 奥村淑美 |

研究論文集 昭和40年度(第2号)

| <u> </u> | |
|------------------------------|-------|
| 表題 | 著者名 |
| 納期、人員に制約ある場合のネットワーク手法の考察:その1 | 大槻繁雄 |
| データ処理システムの体系に関する考察 | 加藤貞夫 |
| フィードバックメソッド:人間関係改善のための一技法 | 嘉味田朝功 |
| S.T.における態度変容:I社の事例 | 小林幸一郎 |
| 事務所管理のあり方:事務用机・椅子に対する調査研究 | 小林末男 |
| 販売経路の現状と問題点:業界における流通機構の考察 | 佐伯肇 |
| 新しい計画手法・PERTのすすめ方 | 佐々木昭三 |
| 自己催眠による「態度変容」:その実証的研究と今後の考察 | 高岡正 |
| 事務の余裕率算定とその問題 | 高原真 |
| 価値分析実施計画のありかた | 土屋裕 |
| 予備調査の要領:その1 | 宮路三郎 |
| 価値分析活動における情報の要素について | 森岡一成 |
| 時系列分析の一方法:"マルコフの鎖"の応用 | 森田一寿 |

紀要(産業能率短期大学経営管理研究所) 第3号(1966年10月刊行)

| 表題 | 著者名 |
|--|-------|
| 管理者理論の実証的研究:その1 X・Y理論について | 森田一寿 |
| 電子計算機要員の適性に関する一考察:プログラミング適性テストを中心として | 大久保哲也 |
| 指数平滑法による需要予測の問題点について | 金沢信一 |
| 製品の機能を体系的に表示する方法 | 藤田恒夫 |
| 事務作業の品質管理 | 高橋正三 |
| わが国における価値分析の歴史的経緯 | 森岡一成 |
| 事務用机・イスの調査 | 小林末男 |
| キャパシティ・コスティング(Capacity costing)の適用 | 田中雅康 |
| 販売Work-Shop Seminarの効果:東急車輛S.W.S.S.のCaseを中心に | 森田一寿 |

紀要(産業能率短期大学経営管理研究所) 第4号(1967年9月刊行)

| 表題 | 著者名 |
|---|-------|
| 超小型電子計算機を用いた資材調達システムについて | 金沢信一 |
| 簡易事務時間標準表の設定と運用 | 高原真 |
| 潜在需要決定の為のMarket Index:その1 Market Indexの考え方と消費者行動モデル | 森田一寿 |
| 生産財セールスにおける占有率・利益率増大のための需要家チャート | 佐伯肇 |
| 確率的原価管理論:確率と原価による意思決定過程の研究 | 石山伝 |
| 資本構造計画の基礎理論 | 石山伍夫 |
| 小集団の訓練過程に関する研究 | 土屋晃朔 |
| システム機能の論理 | 藤田恒夫 |
| シミュレーションによるライン:バランスの感度分析について | 大槻繁雄 |
| コスト最小化手法を導入した生産管理システムの体系 | 佐々木昭三 |
| 機能的工程研究 | 土屋裕 |
| 品質/信頼性に対するVEの適用 | 高橋正三 |

紀要(産業能率短期大学経営管理研究所) 第5号(1968年9月刊行)

| 表现,是一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个 | 著者名 |
|---|-------|
| 臨時行政調査会の行政改革に対する接近方法 | 森田邦彦 |
| 目標管理における生産性指標の適用 | 柴野直一 |
| 能力主義人事の考え方と現状:参加概念の観点から | 梅沢正 |
| 女子社員教育の必要点把握について | 石崎道子 |
| Brain stormingの効果的な進め方一試案 | 田中久夫 |
| 商品購入者に対するアフター・プロモーション策:その第一ステップとして | 飯田隆 |
| ストック生産形態における、経済的バッチ生産を前提としたスケジューリング立案プロセスのシス テム的考察 | 佐々木昭三 |
| 生産システムにおけるコンピュータ:シミュレータについて | 大槻繁雄 |
| 「代替案の評価」の構造 | 藤田恒夫 |
| 調和解析による品質の改良 | 原田雅顕 |

紀要(産業能率短期大学経営管理研究所)第6号(1969年10月刊行)

| 表題 | 著者名 |
|---|------|
| シェルドン管理論の課題 | 岡田匡令 |
| 経営の「日本的」な過程 | 梅沢正 |
| 管理者理論の実証的研究:その2.Y理論と業績について | 森田一寿 |
| わが国の女性秘書の能力開発訓練について | 石崎道子 |
| 職務評価における問題点と課題 | 池沢章雄 |
| 設備投資の経済計算 | 阿部錠輔 |
| 見積原価計算と習熟効果との関連 | 原田行男 |
| 多変量解析の理論と応用:主成分分析・因子分析 | 本多正久 |
| ヒューマンエラー防止に対する一考察 | 高橋正三 |
| 「Man-Machine system」における疲労に関する一考察:その1.精神疲労のメカニズムとその形態 | 村上良三 |
| PASS | 長尾幸昌 |
| 3点見積法による多段階意思決定過程の効率化について | 原田雅顕 |
| 臨時行政調査会の行政改革に対する接近方法(2) | 森田邦彦 |

起要(產業能率短期大学経営管理研究所) 第7号(1970年9月刊行)

| 表題 | 著者名 |
|--------------------------------|------|
| 企業予算と目標による管理 | 柴野直一 |
| マーケティング戦略における販売競争力価値分析(1) | 清水栄一 |
| 問題解決法とシステムアプローチ | 高橋正三 |
| 情報モデルと情報の期待値 | 西川智登 |
| 代替案評価における重み係数の取扱とコンピュータ・プログラム | 原田雅顕 |
| 達成動機の実証研究 その1 | 森田一寿 |
| 対人認知場面における情報のフィードバック効果 その1文献研究 | 佐藤隆男 |

紀要(産業能率短期大学経営管理研究所) 第8号(1971年10月刊行)

| <u> N女(庄未化平区场入于柱名自在功元阶/ \$05(13/1年10万 1111)</u> | |
|---|------|
| 表題 | 著者名 |
| 時間研究における統計手法の応用 | 高橋正三 |
| 経営意思決定論への枠組試論 | 藤田恒夫 |
| 装置工業におけるValue Engineeringの適用について | 中神芳夫 |
| オートマトンによる工程編成の最適化について | 西川智登 |
| 作業時間の変動するライン・バランシングに関する一考察(その1) | 坪根斉 |
| 資材計画における逐次的意思決定 | 西沢隆二 |
| マーケティング戦略における販売競争力価値分析(2) | 清水栄一 |
| 戦略的重点地域市場の決定 | 浜田芳樹 |
| 不動産広告に関する因子構造 | 嶋袋道夫 |
| 技能系従業員のやりがい意識形成要因についての調査研究 | 上原橿夫 |

紀要(産業能率短期大学) 第9号(1972年10月刊行)

| <u> 化女(庄未化午及为八十/ おりつ(1872年18万 [9]] </u> | |
|---|------|
| 表題 | 著者名 |
| 問題定義の方法論に関する一考察:問題のレベルと範囲の決定法を中心として | 高橋正三 |
| 経営意思決定問題における内容分析の一つの適用 | 藤田恒夫 |
| 意思決定プロセスと感度分析 | 西川智登 |
| 作業時間の変動するライン・バランシングに関する一考察(その2) | 坪根斉 |
| 生産計画と標準時間的概念 | 西沢隆二 |
| 動機分析,課業分析,そして風土の醸成 | 梅沢正 |
| 「Man-Machine System」における疲労に関する一考察:その2,単調労働と単調感軽減のための方 | 村上良三 |
| 集団決定における参加者行動の調査 | 佐藤隆男 |
| シェルドンの経営管理論(1) | 岡田匡令 |
| アメリカの「管理運動」(1) | 小玉勝也 |

紀要(産業能率短期大学) 第10号(1973年10月刊行)

| N女(庄木化平心两八子/ 矛10勺(1979千10万 1111) | |
|---|-----------|
| 表題 | 著者名 |
| 問題解決の方法論に関する一考察:逸脱問題と目標問題の解決を中心として | 高橋正三 |
| 機能分析における機能と構造 | 西沢隆二 |
| ロット生産における機械負荷決定の一方法 | 坪根斉 |
| 「Man-Machine System」における疲労に関する一考察:その3.計器看視作業の実態とその問題点 | 村上良三 |
| シェルドンの経営管理論(2) | 岡田匡令 |
| 有限マルコフ連鎖とその応用に関する一考察:職業移動の事例を中心にして | 横田澄司/川畑興求 |
| 『日本的企業経営の特質と意思決定』:戦略的意思決定に主点をおいて | 林壽雄 |
| アメリカの「管理運動」(2) | 小玉勝也 |